

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	プチミュージアムの郷プロジェクト調査事業
対象地域	石川県 鳳珠郡能登町
活動概要	<p>地域の高齢化、若年層流出による過疎化、担い手不足により、農林漁業においてはもとより、商業においても既存商店街の衰退は著しく、今こそ有効な地域づくりが必要と痛感する。能登はかつて陸の孤島と言われたように、一次、二次産業において競争力を確保することは極めて難しく、他方観光において、それは強みとなり得る。幸い豊かな自然と、新鮮な食が存在するがそれのみでは首都圏からの誘客は多くを望めない。然るに能登には独自の歴史文化資産があちこちの町内や個人の土蔵に豊富に残存しており、これを有効活用することで能登のオンリーワンを発信できる。かく地域に埋れた有形無形の資源を最大限活用し、交流人口拡大と地域への愛着を高め、定住人口の増加を目指す。</p>
今年度の主な取組	<p>町を「プチミュージアムの郷」とすることを目指し、そのための調査を行なう。①候補リスト作成、②「歴史文化」資産の所有者とのヒアリング、③公開に対する合意形成、④展示内容の検討、⑤施設整備が目標であるが、調査終了後、ホームページ上で公開する。</p> <p>ここで言うプチミュージアムとは</p> <p>① 町内や個人の土蔵に保存されている「歴史文化」資産をその家の一角を小さな展示場にして、そこに公開するもの。(設置コストが僅少で済む)</p> <p>② 館主は定年後のボランティアで、家の留守を兼ねる。(人件費が不要)</p> <p>③ 談話コーナーを設ける。(お茶を飲みながら資料の由来を話し合う。地域住民の交流の場ともなる)</p> <p>④ 50館を目標とし、「奥能登トリビア蔵」との名称でパッケージ化する。(小規模なものと展示物自体が国宝級とはゆかないので数多く作る必要があり、「郷」と称した所以でもある)</p>
活動結果	<p>交流人口の拡大と住民の地域への愛着を高めるための第一歩として、地域の埋もれた有形無形の資源を最大限活用するために、150件を目標に、地域の埋没資源の候補リストを作成した。その中から50件を目標に展示内容の検討を行い、最終的に60件をリストに取りまとめた。</p>
当初予想していなかった効果	<p>調査に廻ってみると、家の方の対応がとても丁寧で親切な方が多く、こちらが恐縮するほどであり、「頑張れよ」と応援の声を戴くこともあった。地域の皆さんも先祖からのものを地域の活性化に活かしたいとの思いは、心のどこかにあるのだと確信し、逆に力を得た。また「中学校との協働」にある本事業と平行して行った中学生への「松波城」に関する出張講義では、案に相違して生徒達が熱心に聞いてくれたことから、若年層への働きかけも考慮できると確信した。</p>

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	プチミュージアムの郷プロジェクト調査事業
対象地域	石川県 鳳珠郡能登町
実施状況(写真)	 <p>【写真】ワークショップでの調査状況報告</p>
応募団体名	民有「歴史文化」資産の保存活用を考える会
リンク	http://www.geocities.jp/mtbr_au/minyou
部局/担当者名	事務局 中 與七郎
連絡先	0768-72-0085
推薦市町村名	石川県鳳珠郡能登町